

## ■ こどもの夢育て～協力して育つ 共に育つ 響いて育つ～（笠縫小学校）

### 1 【活動の趣旨】

学校と地域・家庭が連携してこどもたちの学びをより豊かなものにするとともに、地域の自然や文化や産業に触れることで、その良さを知り伝えられるこどもの育成とその仕組みづくりを目指し、学校と地域と学校運営協議会が三位一体となって地域協働合校事業を進めている。



### 2 【特徴的な活動内容】

#### ○「米作りから学ぼう」（5年生）

5年生の総合的な学習の時間において、地域の人々の協力のもと、米の種まきや田植え、稲刈り体験をしたり、成長の様子を観察したりすることで、日本の食糧生産について理解を深めることができた。さらに、生産した米を草津駅の利用者に配布し、米作りに関心をもってもらうよう働きかけた。

#### ○「アオバナはかせになろう！」（3年生）

3年生の総合的な学習の時間で、地域の伝統産業である青花紙用のアオバナを栽培する最後のお一人である「アオバナ栽培の名人」を招き、苗の植え方や世話の仕方を教えていただいた。また、育てた花を摘み、伝統的な方法で和紙を染めて青花紙を作る体験をすることもでき、地域の産業についての理解を深めることができた。

#### ○「ふれあい花壇」（委員会活動）

地域ボランティアとボランティア団体『circle』が環境美化委員会の児童と一緒に、花壇にパンジーを植え、管理をすることにより、美しい環境を保つように心がけることができた。

### 3 【実施に当たっての工夫】

年度や学期初めに、学習支援等をお願いしたい内容について、学年と地域コーディネーターとで打ち合わせを行い、学習の展開や人材の確保に見通しを持てるようにした。また、昨年度より発足したボランティア団体『circle』の協力により、多くの人材が確保できるようになってきている。

### 4 【事業の成果】

- ・学習の成果を地域に向けて発表したり啓発したり、一緒に活動したりしたことで、達成感や自己有用感を味わうことができた。
- ・授業支援については、専門的な視点を生かした話を聞いたり、体験をしたりでき、こどもたちの学びが深まった。

### 5 【事業の今後の展望】

- ・ボランティアとの授業前の打ち合わせによって、授業はスムーズに進むものが多かった一方で、授業後のふり返りの時間を取ることは難しかった。地域コーディネーターやボランティアが入れ替わっても、人材との連絡や段取り等が引き継げるように、記録の方法を工夫していくことが必要である。
- ・継続してボランティアに協力してくださる方がいるものの、学習を進める上で必要な人材を新たに発掘していく必要がある。